

令和6年度 第4回 緩和ケア・在宅医療部会 議事要旨

日 時：令和6年3月12日(水) 16:00～17:17

場 所：琉球大学病院がんセンター(ZOOM 会議)

出席者9名：笹良剛史（豊見城中央病院）、野里栄治（北部地区医師会病院）、屋良尚美（県立中部病院）、中島信久（琉大病院）、安次富直美（琉大病院）、安座間由美子（中部病院）、田場純子（沖縄県保健医療介護部健康長寿課）、増田昌人（琉大病院）、中村清哉（琉大病院）※15分

欠席者5名：友利寛文（那覇市立病院）、田仲斉（県立宮古病院）、酒井達也（八重山病院）、川田聡（南部医療センター・こども医療センター）、名嘉眞久美（キャンサー・グリーンおきな和）

陪席者1名：屋嘉部麻美（琉大病院）

報告事項

1. 令和6年度 第3回緩和ケア・在宅医療部会 議事要旨

時間の都合上、各自で確認することとなった。

協議事項

1. 令和7年度 緩和ケア・在宅医療部会 部会長・副部会長の選任について

笹良部会長より【資料2】に基づき、「私の提案は部会長に野里先生、副部会長は安次富さんや屋良さん良いと思ったのですがいかがでしょうか？」と意見があった。安次富委員と屋良委員それぞれより「今年度で委員を退任する」と回答があった。続けて屋良委員より「私達の後任看護師を2名副部会長にしてはどうか？」と提案があり、笹良部会長より「着任したばかりで難しいと思う。一応、琉大と中部病院のどちらかの緩和ケアナースには入って頂くような形でお願いしようかと思います。4月以降の委員の方へメール審議で回答頂くのはどうでしょうか？」と意見があり、委員うなずきで可決された。途中参加の野里委員も「構いません」と回答があった。

2. 令和7年度 緩和ケア・在宅医療部会 委員の選任について

今年度で安次富委員と屋良委員2名が退任することとなった。後任者も決まっている。

野里委員、安座間委員は継続予定。その他、継続・退任のご連絡や推薦者等のご意見があれば事務局宛てにメールをもらうこととなった。

3. 痛みのスクリーニングとモニタリングデータ抽出について

(1) 琉球大学病院

安次富委員より【資料3】に基づき、「昨年度から項目の数が7項目に減り、記録はほぼ100%になっているが、まだ安定していない。除去率についてどうしても痛みがすっきりしないという患者さんが多い事と、ケア介入について傾聴してお話を聞く事もケアの一つという説明をして数字が上がっていると思います」と報告があった。

(2) 中部病院

安座間委員に代わり、屋良委員より【当日資料1】に基づき、「日々のスクリーニング・モニタリングのデータがきちんと取れていないので、ケア介入の説明できないですが、除痛があまりできていない結果になっているのでチームで話し合っ、介護介入がどうなっているのか今検討しているところです」と報告があった。

(3) 那覇市立病院

友利委員が欠席のため、各自資料を確認して質問等があれば事務局へ連絡することとなった。

4. ロジックモデルを用いての次年度の活動計画について

増田委員より【当日資料2】に基づき、以下の質問と委員より回答があった。

▼この資料を見て自由にご意見を頂きたい

笹良部会長より「これは痛みだけですか？例えば、気持ちのつらさのスクリーニングについて外来で標準的にやっていたり、化学療法室では緩和ケア学会から出されている痛みとつらさのスクリーニング用の問診票を使っていて、痛みの評価には NRS や STAS-J、ストレスサーモメーターといったツールを使って、気持ちのつらさやストレスの程度を測定しているようでナースが一回一回取っていることが多いかなと思う。身体的な痛みと心のつらさに関するスクリーニングにするのか、&や or みたいにするのか。そうすると質問の精度は曖昧になるが、実際に行っているのかどうかを問う話なら良いと思います」と意見があった。

屋良委員より「問4の回答ではいと答えると何割と聞くように、いいえと答えた場合でも理由を選択式にするのはどうでしょうか？何割かというとうどう答えたらいいかわからない方もいると思って、いいえの理由を聞く事ではいと答えるところが意味を持つてくると思います」と意見があった。

安次富委員より「入院時のモニタリングで“定時に聞く”とあったが、定時に聞いていないので毎日に変更するのはどうか」とご意見があった。

▼WEB で実施して、病院として1人に聞こうと思っている。はいと回答後の質問に対して何割もしくは5択のどちらで質問するほうが良いか。

笹良部会長より「1割から10割で聞くのはどうか」と意見があった。

その他のご意見については資料を各自で確認後、事務局へ連絡を頂くことで終了した。

5. 次回令和7年度 第1回緩和ケア・在宅医療部会の日程について

4月以降、調整さんで決定することとなった。

6. その他

特になし

報告事項

2. 令和6年度 第4回緩和ケア・在宅医療部会 在宅ワーキング 議事要旨
時間の都合上、各自で確認することとなった。

3. 令和6年度 第3回緩和ケア・在宅医療部会 研修ワーキング 議事要旨
時間の都合上、各自で確認することとなった。

4. 令和6年度 緩和ケア研修会の報告について

▼ハートライフ病院 <第9回 2月8日(土)>

時間の都合上、各自で確認することとなった。

5. 令和7年度 緩和ケア研修会開催日程一覧について

安座間委員より「南部医療センターが例年通り10月初めくらい、中部病院と八重山病院との共催が10月後半で、中部病院と宮古病院との共催は12月初めと話がありました」と報告があった。各病院で順次決まったら事務局へご連絡頂くこととなった。

6. GRACE 研究会について

次回の報告となった。

7. 意思決定支援の研修会 E-FIELD について

笹良部会長より「E-FIELD という名前と事業主体が筑波大学から代わり、厚生労働省委託事業で人生の最終段階における医療・ケア体制整備事業となり、現在 E-FIELD を元にもう一度相談員研修会を練り直した形でやっている。在宅医療と病院と 2 つに分かれているのをもう一度統合して実施する形になりました。今新しいプログラムのパイロット版ができたのでまた決定したら皆さんにお知らせします」と報告があった。

8. 日本緩和医療学会 第 7 回九州支部学術大会について

次回の報告となった。

9. 第一回 沖縄痛みと心の医療連携ネットワーク会議について

笹良部会長より【資料 11】に基づき、「私がやっている慢性疼痛の原点化事業の予算を使って、精神科の先生とリエゾンについてネットワークができるプラットフォームという勉強会のような会を開きました。今後の運営について高橋先生や痛みの慢性疼痛事業の方で牧港クリニックの平良先生と相談していく予定です」と報告があった。

10. 第 38 回 日本サイコオンコロジー学会総会（2025 年度沖縄開催）について

増田委員より【資料 12】に基づき、「ホームページが開設されたので改めてご確認頂きたいことと、一般演題の募集が始まっているので是非皆さんも演題を出して頂き、ご参加頂ければと思います」と報告があった。

11. その他

特になし

以上